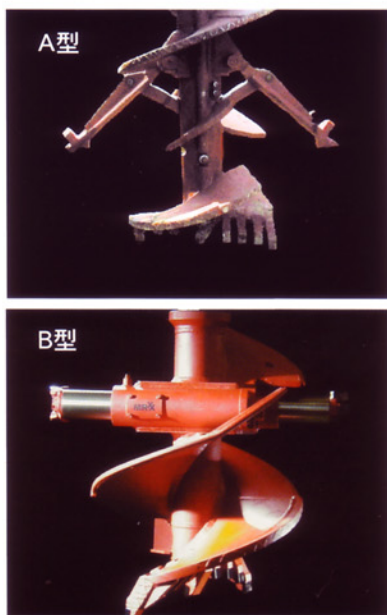


MRXX工法 確実な施工管理で高支持力



MRXX工法では、杭先端径+50mmの＜MRXX工法＞専用掘削拡大ビット(A型、B型)を使用し、地盤に応じた方法で所定深度まで掘削攪拌します。その後、油圧装置により掘削拡大ビットを開翼させ、上下反復及び根固め液(W/C=55%)を注入し、拡大根固め球根を築造します。掘削拡大ビットを閉翼後、杭周固定液(W/C=80%)を注入しながら引き上げ、掘削孔を築造します。その後、杭先端に特殊金具と溝を有する先端開放型のST杭を所定位置に設置します。

MRXX工法は、上述の施工方法によって高い支持力を得る工法です。また、拡頭杭を用いるType IIもあります。

■特長

- ①土質に応じて掘削拡大ビットおよび掘削攪拌シャフトを変えることにより、多くの地盤で施工可能である。
- ②先端に特殊金具を取り付けたST杭を、高強度な拡大根固め球根に定着させる為、先端支持力を大きくとれる。
- ③施工管理装置を使用することによって、支持層管理、拡大根固め球根管理、注入液量管理などが容易である。
- ④低振動、低騒音工法であり、周辺への影響が少ない。

■鉛直支持力算定式

$$Ra = \frac{1}{3} \{ \alpha \bar{N}_{Ap} + (\beta \bar{N}_s L_s + \gamma \bar{q} u L_c) \psi \}$$

$$\alpha = 490 \text{ (砂・礫質地盤)} \quad 35 \leq \bar{N} \leq 60$$

$$\alpha = 367 \text{ (粘土質地盤)} \quad 30 \leq \bar{N} \leq 60$$

$$\beta = 5.2 \quad \bar{N}_s \leq 30$$

$$\gamma = 0.72 \quad \bar{q} u \leq 200 (\text{kN/m}^2)$$

■適用範囲

杭径(呼び名) ※3035～100110

最大施工深さ 砂質地盤：くい施工地盤面－51m

礫質地盤：くい施工地盤面－53m

粘土質地盤：くい施工地盤面－52m

※3035、3540につきましては、別途御相談ください。

■施工法

